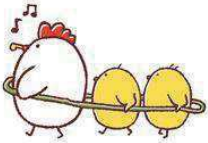


ほっとたいむ

第38号
2021.春



移動サービス保険に加入しました！

サポート会員さんに安心して送迎を行ってもらうための体制整備は、那須塩原市ファミリーサポートセンタースタート当初からの課題でした。2021年4月、念願かなってファミリーサポートセンターで移動サービス保険に加入、送迎中の対人・対物事故にも対応が可能になりました。



ファミリーサポートセンター事業における送迎の比率は全国的にも年々高くなっており、那須塩原市も例外ではありません。そして全国のファミサポ活動中の事故のうち約27%が自動車利用中の事故となっています。しかし今迄は万が一送迎中に交通事故が起こった時には、サポート会員さんが加入している自動車保険で対応していただくしかありませんでした。

警察庁調査によりますと、現在一日の中で自動車死亡事故が最も多く発生している時間帯は17～19時で、これはファミサポの送迎サポートが多い時間帯とも重なります。サポート会員さんは日頃から安全に十分注意して運転して下さっているとは思いますが、それだけでは防ぎきれない事故がある事も事実です。保険に加入したことで、会員さんの安心感も多少なりとも高まるのではないのでしょうか。

新しい補償内容のご案内を同封いたしますので、お手元に以前のものがある方は差替えて下さい。現在送迎サポートをされている方には、すでに使用申請書をご提出いただきました。今は送迎していなくても送迎可能なサポート会員さんは、是非同封の申請書をご提出下さいますようお願いいたします。

なすしおばら市 ファミリーサポートセンター

〒329-2754 那須塩原市西大和 6-2

TEL/FAX 0287-47-6252 緊急連絡先 070-2262-6252

開所時間 月～金 8:00～18:00
土 8:00～12:00

E-mail: hotnet.famisapo@eco.ocn.ne.jp

HP アドレス <http://hotnetfamisapo.com>

那須塩原市ファミリーサポートセンターは、「NPO法人子育てほっとねっと」が市の委託を受けて運営しています



3月31日現在の会員数 358人

サポート会員さんのご紹介

渡邊敬一さん、眞由美さん



テニスが趣味の渡邊さんご夫妻

学校のスクールガードや民生委員、お年寄りの配食サービスボランティア活動など地域で様々な活動をされている眞由美さん。サポート会員になったきっかけは、サポート会員養成講座の案内を広報で見ても「自分の子育ての時は、夫は単身赴任でいなかったけど近くにいる姉妹が助けてくれたし、両親の介護では施設の方にもずいぶんお世話になったので、ずっと恩返しをしなくちゃと思っていた」そうです。少しでも核家族で頑張っている家族の助けになればとの思いで、那須塩原市ファミリーサポートセンターのスタートと同時に養成講座を受講し、ずっと黒磯地区で活動をされています。敬一さんはそんな眞由美さんの活動に寄り添って見守りながら、時にはおうちで一緒にサポートして下さっていましたが、近年退職されたのをきっかけに、自分もサポート会員になろうと思って養成講座を受けて下さったそうです！

お二人にサポート活動の中で印象に残っているエピソードを伺いました。眞由美さんは、預かりサポートの時、利用会員さんから「この子はお外が大好きなんだけど、自分の休日はやらなければならないことがたくさんあって外には連れて行けないから靴を隠しておくんです😞」と聞き、サポートの時くらいは思う存分散歩をさせてあげよう、とずっと外で過ごしたことがあったそうです。また、別のサポートで保育施設へ送って行った時、子どもに「ここはあんまり好きじゃないの」と言われて「そうなんだ…」と、しばらく一緒に居たこと。預かった時、敬一さんになついで「まだ帰りたくない」とお母さんを困らせたお子さんもいたとか。

サポートの喜びは「活動している中でたくさんの頑張っているお母さんや子どもたちに会えたこと。そして自分の子ども達も折り紙やトランプ、オセロ等で一緒に本気で遊び、一緒にご飯を食べ、まるで家族が増えたよう」とも。もうすっかり自分の孫を見るような気分でサポートをして下さっている渡邊さんご夫妻。お子さん達が遊んだおもちゃや絵本も、まだまだサポートで活躍中です。お子さんを預けることに躊躇している方も、安心してお願いできると思いますよ(^ ^)

渡邊さん、これからもよろしく
お願いします<(_ _)>

おもちゃ選びのヒント



完成したおもちゃより、遊びの素材を選ぶ

おもちゃをゴミの様に扱っていませんか？

おもちゃは子どもが「はじめて出会う物」です。おもちゃの扱い方は、物をどのように扱うかにつながります。大人が箱をひっくり返しておもちゃを出したり、箱に投げ入れるように片づけをしていると、子どももまねをするようになります。物を大切に扱うことを伝えたいと思ったら、おもちゃは棚に並べて大人が大切に扱ってみせましょう。

子どもが遊びの中で必要としているのは、おもちゃではなく遊びの素材です。



3月いっぱいサポート会員を卒業されたMさんがサポートの思い出を寄せて下さいました♪

数年前、知人の紹介でファミリーサポートというものを始めて知りました。私のような者が他人様の子どもさんのお世話などできるのだろうかと自問自答しましたが、少しでもお役に立てればと入会。数年活動させていただきました。短い期間でしたが心に残る思い出も沢山ありましたので、お子さんとの思い出をほんの一部書かせていただきます。

初めて我が家へ来られた時は子どもながらにふと不安げな表情を浮かべる瞬間がありました。そんな時おんぶして歌を歌いながら道路を走る車を数えたり、主人と3人で廊下と部屋をぐるぐる回りながら電車ごっこをしたりしました。私が「ばあちゃん疲れちゃったよ～」と言うと、ケラケラ笑いながら「もっとやるの～」と私たちをからかったり、持参したおやつを「これはおばあちゃんの分」と言っ

て、私のしわしわな手にちょこんとのせてくれたりした優しい〇〇ちゃん。
夕食を食べながらの会話では「パパは〇〇くんにオモチャをたくさん買ってくれるために一生懸命お仕事頑張っているんだよ」と、ご両親に大切に育てられている様子などを話してくれたこともありました。

ある日は、お誕生祝に買ってもらった自転車を見せに来てくれ、一生懸命ペダルをこぎながら帰っていく可愛い後ろ姿が残像として残っています。

当初、オムツ、哺乳瓶を離せなかった彼が今では幼稚園、間もなく小学生になります。日々成長していく姿は私たち夫婦にとって孫のような存在で、大切な思い出と生活の励みになっております。今思えば、私たち夫婦はサポートしていたのではなく、サポートされていたのかも知れませんね。短期間でしたが、このお仕事にかかわることができ、本当に良かったと思っております。ありがとうございました。

最後に、高校時代に学んだ大好きな万葉集の山上億良の歌を…

白金も黄金も玉もなにせむに 勝れる宝 子にしかめやも



Mさん、ありがとうございました(^)/



何もなくても子どもは遊ぶのか？



「何もなくても子は遊ぶ」というのは、家の周りに土や草や石ころや水たまりがあった時代のこと。そのような遊びの素材が豊富だった時代と違い、今子どもの周囲には、遊びの素材は転がっていません。また、乳幼児は手指操作が急速に発達する時期です。特に1歳から3歳の子どもは、常に手を使いたがっています。乳幼児の遊びには、手が十分使える遊びの素材を用意することが必要です。

これからの
行事

サポート会員・両方会員のためのサロン

定員
各8名

寄せ植え

5月10日(月)
10:15~11:45
東那須野公民館
参加費 500円

虫よけにも使える ハーブチンキ作り

6月10日(木)
10:15~11:45
西那須野公民館
参加費 500円

じきょうじゅつ 自彊術って どんな体操?

7月6日(火)
10:15~11:45
厚崎公民館 和室
動きやすい服装で
お越しください

前月末日まで
にお申し込み下さい。
当日の持ち物
をお伝えします。

新型コロナウイルスの感染
状況によっては中止となる
行事もあります。

令和2年度のサポート活動まとめ

サポート内容	件数
保育施設等の保育開始又は終了後の預かり	181
学校の開始又は終了後の預かり	19
放課後児童クラブ終了後の預かり	57
保育施設等の休日の預かり	121
軽度の病気の子の預かり	0
未就園児の預かり	86
その他の預かり	36
保育園、幼稚園の送迎	348
小学校、中学校の送迎	208
放課後児童クラブの送迎	167
習い事等の送迎	508
その他の送迎	107
キャンセル、中止など	307
合計	2,145

サポート会員さんって 1日何人ぐらいの人が 動いているの?

更新時のアンケートにこんなご質問を
いただきました。

時間帯や地域によって動ける方が違う
ため、1人のサポート会員さんに複数件
受けていただいている日もあります。
例えば令和3年3月は、1日平均5~6
人の会員さんがサポート活動して下さい
ました。

次回のサポート会員養成講座、事故予防の再受講講座
日程につきましては夏号でお知らせします!